

2023年7月21日

国立大学法人滋賀大学長 竹村 彰通

本学の大学院データサイエンス研究科博士前期課程の定員倍増超と DS 学部定員増などを内容とする提案が令和5年度大学・高専機能強化支援事業において、ハイレベルな取り組みであるとの評価を得て採択されました。

デジタル化の加速的な進展を背景に高度情報人材は今なお不足感が極めて強く、その期待に応えることは、本格的なデータサイエンス教育研究を重ねてきた本学の使命であると考え、今後、データサイエンス研究科博士前期課程の定員を現行の40名から令和11年までに100名へと大幅に拡大します。これは、データサイエンス・AI分野の人材育成という我が国にとって喫緊の課題の解決に大きく貢献するものです。また、データサイエンス学部についても学生定員を100名から150名に、1.5倍増させる予定です。

滋賀大学は「未来創生大学」の理念のもとに、データサイエンス・AI分野のトップランナーとして、我が国産業と社会の高度化に積極的に貢献してまいり所存であります。

関係の皆さまのご理解、ご声援をよろしくお願いいたします。